

■■化学療法投与計画書《S-1+CDDP療法》■■

実施日	
-----	--

患者番号	性別	身長	cm	
カナ氏名	生年月日	体重	kg	指示医
患者氏名	年齢	体表面積	m ²	

Rp)シスプラチン(ランダ) 60 mg/m² 点滴静注 Day8 5週毎(3週投与2週休薬)
 TS-1 ※用量は下記参照 内服 Day1~21

本管①	Day8
KN3号輸液	500mL 1 袋
本管②	KN3号輸液 500mL 1 袋

レジメンコメント1
レジメンコメント2

4時間

アプレピタント125mg1カプセル内服(シスプラチン投与開始1~1.5時間前)

側管①	シスプラチン開始前15分で
パロノセトロン点滴バッグ	0.75 1 袋
デカドロン注射液	1.65m 4 管

本管③	溶解後遮光
大塚生食注	500mL袋 1 袋
シスプラチン	mg
<腫>ランダ注	50mg/100mL
<腫>ランダ注	10mg/20mL

※TS-1用量: 体表面積に応じて調整	
<1.25m ²	80mg/body /日 (20mg 4C 2×)
1.25~1.5m ²	100mg/body /日 (25mg 4C 2×)
1.5m ² <	120mg/body /日 (20mg 6C 2×)

本管④	KN3号輸液 500mL 1 袋
-----	------------------

側管②	シスプラチン終了後120分かけて
20%マンニトール注射液	300mL 1 瓶

本管⑤	KN3号輸液 500mL 1 袋
-----	------------------

- アプレピタントカプセル
Day8 125mg
(シスプラチン投与開始1~1.5時間前)
Day9,10 80mg
- デカドロン錠4mg
Day9,10,11 2錠(8mg) 2×/day

本管⑥	KN3号輸液 500mL 1 袋
-----	------------------

本管⑦	KN3号輸液 500mL 1 袋
-----	------------------

Day9へ続く

＜実施時の注意＞
 漏出時:直ちに投与を中止し、薬剤を吸引、洗浄し、ステロイドの局注、ステロイドの外用剤で対処する。
 アルミニウムを含む医療器具を用いないこと。
 光により分解するので直射日光を避けること。点滴時間が長時間に及ぶ場合には遮光して投与すること。
 投与当日は1日3000mL以上の尿量を確保。投与後3日間は1日1500mL以上の尿量を確保することが望ましい。

＜注意すべき副作用＞
 ●食欲不振、吐き気 ●皮疹 ●下痢 ●口内炎 ●色素沈着 ●手足のしびれ
 ●脱毛(頭髪、まつ毛、眉毛など) ●白血球減少 ●赤血球減少(貧血) ●血小板減少
 ●腎機能低下 ●肝機能低下